

分子夾雑の生命化学 成果とりまとめシンポジウム プログラム

会場：福岡アイランドシティフォーラム

9月16日(金)			
13:00-13:30	浜地 格 / 田村 知則 (A01)	京都大学・工学系研・教授 / 京都大学・工学系研・講師	分子夾雑下での生命分子の直接修飾/機能解析を実現する有機化学
13:30-13:50	王子田 彰夫 (A01)	九州大学・薬学研・教授	生体夾雑系におけるタンパク質不可逆阻害のための有機化学の開拓と創薬展開
13:50-14:10	萩原 伸也 (A01)	理化学研究所・分子生命制御研究チーム・チームリーダー	植物機能の理解と制御を目指した分子夾雑の合成化学
14:10-14:35	中村 浩之 (A01)	東京工業大学・科学技術創成研究院・教授	細胞内タンパク質-タンパク質相互作用解析を可能とする光ラベル化技術の開発
14:35-15:00	掛川 渉 (A01)	慶應義塾大学・医学部・准教授	新規ケモジェネティクス法による脳内記憶・学習回路の制御と理解
15:00-15:25	田井中 一貴 (A01)	新潟大学・脳研究所・教授	組織夾雑系を可視化する特異的ケミカルプローブの開発戦略
15:25-15:45	休憩		
15:45-16:15	杉本 直己 三好 大輔 / 建石 寿枝 (A02)	甲南大学・FIBER・教授 甲南大学・FIRST・教授 / 甲南大学・FIBER・准教授	細胞夾雑模倣系の構築と細胞内活性分子設計指針の構築
16:15-16:35	後藤 祐児 (A02)	大阪大学国際医工情報センター・特任教授	細胞夾雑系における蛋白質の異常凝集の原理と制御
16:35-16:55	田中 成典 (A02)	神戸大学・システム情報学研・教授	水を通して見る生体分子夾雑系の情報熱力学
16:55-17:20	新井 敏 (A03)	金沢大学・ナノ生命科学研究所・准教授	分子夾雑空間の熱力学エンジニアリング
17:20-17:45	加地 範匡 (A03)	九州大学・工学系研・教授	細胞核・細胞質内分子夾雑系定量評価法の開発
18:00-21:00	懇親会		

9月17日(土)			
9:00-9:25	馬場 嘉信 / 小野島大介 (A03)	名古屋大学・工学系研・教授/名古屋大学・工学系研・特任准教授	がん病態環境の分子夾雑マッピングデバイスの開発
9:25-9:45	田端 和仁 (A03)	東京大学・工学系研・准教授	夾雑を制御するための細胞融合デバイス開発
9:45-10:05	夏目 敦至 (A03)	名古屋大学 未来社会創造機構 特任教授	分子トレーシングを基盤としたがんと神経の細胞標的分子の創成
10:05-10:30	中曽根 祐介 (A02)	京都大学・理学系・助教	夾雑微小空間におけるタンパク質の動的挙動-揺らぎ・反応・局在化と機能-
10:30-10:55	松浦 和則 (A02)	鳥取大学・工学系研・教授	分子夾雑系でのタンパク質提示人工ウイルスキャプシドの自己集合と核酸内包挙動の解析
10:55-11:15	休憩		
11:15:-11:40	丸山 達生 (A01)	神戸大学・工学系研・教授	ガン細胞内酵素をトリガーとする自己組織化を利用した選択的抗ガン活性
11:40-12:05	小澤 岳昌 (A01)	東京大学・理学系・教授	マウス個体内に発現する細胞膜リセプターの近赤外光操作技術の開発と展開研究
12:05-12:30	大塚 洋一 (A03)	大阪大学・理学系・准教授	極致イメージング質量分析法による多次元分子夾雑情報の把握
12:30-12:55	武森 信暁 (A03)	愛媛大学先端研究・学術推進機構・講師	分子夾雑環境におけるプロテオフォーム動態のトップダウンプロテオミクス解析
12:55-14:00	昼食		
14:00-15:30	ポスターセッション		
15:30-15:55	築地 真也 (A01)	名古屋工業大学・工学系研・教授	細胞内オルガネラ膜結合分子の拡張と <i>in vivo</i> 展開
15:55-16:20	小松 徹 (A01)	東京大学・薬学研・助教	細胞内代謝過程の摂動による生命現象の理解と制御
16:20-16:45	二木 史朗 (A01)	京都大学・化学研究所・教授	生体膜の曲率・脂質パッキング状態変化を誘起する機能性ペプチドと展開
16:45-17:00	総括		